



社会福祉法人 村 山 苑

村山苑だより



年度の始まりに

事務局長 相原 弘子



例年より2週間も早く桜が開花し、いつもであれば待ち遠しい春の到来に胸を弾ませるところでしたが、昨年からの新型コロナウイルス感染症の益々の拡大、変異株による感染の拡大を受けて、大変な年度始まりです。ワクチンの接種も始まっていますが、まだまだ長期化は免れない状況に、法人各施設においては、基本的なマスクの着用、手洗い、消毒に更なる感染予防を徹底して利用者サービスに努めております。新しい生活様式の中で、可能な限り出来ることを考え、園児の成長や利用者の自立、入居者の安心できる生活を守ってまいります。

さて、平成30年度から進めてまいりました、第2ハットホームの増改築工事も令和3年2月末に無事竣工し、この5月に清瀬市にある東京都代替え施設より入居者の方が戻り、6月にはショートステイ事業も開始いたします。近隣の方はもとより、この新しい施設を多くの方にご利用いただきたいです。介護保険事業は、今回の報酬改定でも決して余裕があるものではありません。借入金の返済を背負いながら、如何に収支のバランスをとって経営していくかが法人にとって大きな課題です。同一敷地内に5つの施設がある利点を生かし、より施設同士の協力を仰ぎながら、経費の節約や業務の見直しを行っていききたいと思います。介護の仕事をする人材の確保も、引き続き力を入れていかなければならない課題です。年が明けて以降、それまでよりも未経験の方の見学希望や応募が少し増えてきました。実際には介護の仕事に就く自信がないと、非常勤職員としてから勤め始めていただくという方もいます。新年度も始まり更にオンライン等の活用をして、求人活動を活発にしていきたいと思います。

今年度は、社会福祉法改正後初めての評議員改選があります。事務手続きに漏れなきよう進めたいと思います。また、基本理念にある「必要とするすべての人々に、生命の輝きを見出すことの出来る福祉サービスの提供」に心を尽くしてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

施設長退任のご挨拶

ハトホーム 前施設長
畠山 千春



村山苑に入職し、8年間ハトホームの運営等に携わらせていただきました。

介護保険制度も知らず、介護事業の経営、運営の経験もない私が、曲りなりにも務められたのは家族会の皆様、各職員の皆様、法人の皆様の支えや励ましがあつたればこそと、改めて心より感謝申し上げます。

振り返ると、介護保険制度や介護報酬改定のたびに戸惑い、日々の稼働率に一喜一憂してきました。

介護保険制度が始まって20年、更に20年後団塊ジュニア世代が65歳以上を迎える2040年を見据えて、団塊世代が75歳以上を迎える2025年を目標に住み慣れた地域で暮らせるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアが取り組まれています。2021年度の介護報酬改定ではLIFE（科学的情報システム）とBCP（業務継続計画）がほとんどのサービスに導入されました。利用者情報をLIFEに提出してフィードバックを受け、各事業所がPDCAサイクル・ケアの質の向上に取り組むことが新たな評価の対象になりました。介護保険制度が20年を経過し、新たな段階を迎えました。これからの20年に向け、今回見送られた「負担と給付」の見直しが次期改定時（2024年）に行われるのではないかと思われま

す。介護保険事業は戦略とマネジメント力が一層問われることとなり、法人の役割も重要性が増して

きています。時代の要請に向き合いながら法人理念の実現に向け、法人が一体となって取り組みが進められることを心より祈念いたしまして退任のごあいさつといたします。

施設長就任のご挨拶

ハトホーム 施設長
兼市 琢磨



四月一日より、畠山施設長の後任としてハトホーム施設長に就任致しました。

ハトホームに勤務するのは7年振りとなりますが、当時と比べて入居者様や職員の皆様も変わってきており、何となく雰囲気も変わったように感じるところです。

私自身、入職から三十年近く事務方として働いてきましたので、介護の現場についてはわからない部分もあり、少しずつ把握していくことに努めていきたいと思っております。

介護保険事業においては厳しい状況が続いておりますが、令和三年度は、介護報酬や各種加算制度の大幅な改正、法人内においては、第2ハトホームの引越し、新しい厨房での給食提供、ハトホーム診療所の体制強化、新型コロナウイルスのワクチン接種等、様々な部分で変動の年になることが予想されます。又、デイサービスセンターの休止やコロナ禍の中で地域との関りが少なくなってきた活用して、何らかの形で地域の方々と関わって

けるよう努力していきたいと考えております。これからも入居者の皆様が安心して生活できる施設、ご家族様にも信頼される施設を目指していく所存でございます。どうぞ宜しくお願い致します。

課長就任のご挨拶

法人本部 総務課長
杉山 陽子



この度、令和三年四月一日付で法人本部総務課長を拝命しました。このような大役を仰せつかり、責任の重大さに身の引き締まる思いです。微力ではございますが、精一杯務めさせて頂きます。

平成七年四月に新卒で事務員として採用していただき、法人本部に配属されました。その後、村山荘、さつき荘、ハトホームにおいて、庶務経理を経験させて頂きました。社会福祉法人を取り巻く環境は厳しくなっており、公益性・非営利性を備えた法人としてその役割や責務は更に大きくなってきています。時代と共に制度が変わり、それに伴い事務処理方法が変わりましたが、いつの時代も報告・連絡・相談がとても大事で、効率よく進めていくための第一歩であると思っております。施設と情報共有しながら連携を図り、法人全体の健全な運営に繋げるよう取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご指導を賜りますよう、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和三年永年勤続者表彰

次の方が永年勤続の功績を表彰されました。おめでとうございます。

今後益々のご活躍を期待しております。

勤続四十年

つぼみ保育園 金井美千代
つぼみ保育園 大塚さえ子
ふじみ保育園 中村伊津子
ほんちよう保育園 笈川 恵美

勤続三十五年

村山 荘 星野 澄子
ふじみ保育園 皆川 朋美

勤続三十年

さつき 荘 井下 研吾
ふじみ保育園 五十嵐美江子

勤続二十五年

法人本部 杉山 陽子

勤続二十年

村山 荘 小沼 洋一
第2ハトホーム 石川 里枝

勤続十年

村山 荘 近藤 咲
第2ハトホーム 伊藤 真衣
つぼみ保育園 荒井 良太
つぼみ保育園 松本 ゆかり
ほんちよう保育園 勝本 純正

勤続40年を迎えて

ほんちよう保育園
笈川 恵美

新人保育士として若さと元気を取り柄とばかりに、創設時のふじみ保育園で毎日を夢中になって過ごしていたあの頃。あれからたくさん年月を過ごし、新たにほんちよう保育園での日々も重ね、気が付けば…。

この長い年月の間に、時代は変わり、子どもを取り巻く環境、保育情勢も変わってきました。時代がかわっても変わらないもの、それは子どもたちの存在、かけがえのない命。その大切なものを守るべく、保育に向かってきた日々でした。時には突っ走り、時には立ち止まり、振り返り、まきに行きつ戻りつの繰り返しでした。そんな中で、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆様、職場の仲間、村山苑の方々と、たくさんの方々に出会い、励まされ、支えていただいたからこそ今まで保育士として働き続けることができたのだと思います。

何年経っても、これでいいのかと迷うこと、悩むことはあります。そんな時、まずは子どもに立ち返ってみること。先輩から受け継いできたこの言葉を忘れず、たくさんの方々と共に今ここに自分が在ることに感謝し、あと少し子どもたちとの日々を重ねていきたいと思えます。

勤続40年を迎えて

ふじみ保育園
中村伊津子

勤続40年と聞いて自分でも驚いているところです。長かったようで短かったような気がしています。

振り返ってみると、今のよういろいろな物があつたわけではなく、物がないからのスタートでした。散歩に出かけると「これまだ使えるのにもったいない」と捨ててあるものをリサイクルと言つて持つて帰ることが時々ありました。(今はやつてはいけなないことです)。今は、物があふれていて買物もクリック一つで済む様になって便利になりました。コピー機もなく鉄筆で文字を書き、自分たちで印刷をしたこともありました。本当に今は指一本で済むわけですからすごいです。これからの環境のことを考えると、もつたないと言ふ言葉を考えながら色々な物を大切にしていきたいですね。

そして、ここまで続けられたのは、先輩方、同期の仲間や同僚に支えてもらったからこそだと思います。この仕事を通して、数え切れないくらい沢山の方々とのお会いがあったことに感謝しています。

そして、仕事が出来ること感謝しています。

勤続35年を迎えて

村山 荘
星野 澄子

村山苑の最初の職場は、さつき荘でした。遠い昭和の時代です。面接に来たのに、道に迷い、もうあきらめて帰ろうかと思ったことを思い出します。何とかたどりついて、今まで働けたことは、よかったです。

私は、救護施設・高齢者施設と村山苑の中で合計5か所の職場で、働かせていただきました。村山荘は2度目の職場です。それぞれの職場で、多くのご利用者の方々また職員の方々と出会い、今日まで楽しく働くことが出来ました。ご利用者の方々の「ありがとう」の言葉に何度励まされたかと思えます。

就職したころは、人権や尊厳・その人らしさ・障害のとらえ方など、今とはだいぶ違っていたように思います。国家資格もありませんでした。今は福祉は生活を支える大切な仕事となつてきたと思います。この仕事を大切に、もう少し働いて行きたいと思えます。



勤続30年を迎えて

ふじみ保育園

五十嵐美江子

ドキドキしながら面接を受けに
来たことが昨日のように思い出さ
れ、30年を振り返ってみると、一緒
に働いてきた同僚はもちろん、子
どもたち、保護者の方々に支えて
もらいここまで続けてくることが
できたなあと感謝の気持ちでいっ
ぱいです。

私が保育士になった頃、雨が降っ
た次の日の子どもたちは、朝からパ
ンツ一枚になり裸足で水たまりの中
にバシヤバシヤと水しぶきをあげ、
頭から足の先まで真っ黒になってあ
そび込んでいました。

時代は平成から令和となり、昔
のようにパンツ一枚であそぶこと
はできなくなりましたが、今のふ
じみ保育園の子どもたちは「やり
たい！」と思った時に思う存分あ
そび込み、楽しかった事を友だち
や保育者と共有し、友だちと一緒
に考え、対話をし、自分たちがわ
くわくする事を創造していくこと
のできる力が身につけてきていま
す。

子どもたち、保護者の方々、地域
の方々みんなが笑顔でいられるよう
園全体がワンチームとなって頑張っ
ていきたいと思えます。

勤続20年を迎えて

村山荘

小沼 洋一

村山苑に入職して20年を迎えるこ
とができました。村山荘の援助員と
して従事し、出会いや別れ、様々な
経験をさせていただきました。成長
の機会を与えてくださった村山苑に
は感謝してもきれません。思い返
すと20年前は右も左もわからず、感
謝、労い、励まし、鼓舞、心配、応
援など色々な言葉をもらいながら人
と人の繋がりの温かさや優しさに
触れ、多くの方々に支えられてここ
まで来た自分があるのだと痛感して
います。

20年というと今までの人生の半分
ということになります。長いよう
であつという間で気が付けば10年、
20年と月日が流れていきました。
20年ともなれば悩み、壁にぶち当
たった時期、失敗して眠れない日も
あればうれしく、楽しい思い出も数
多く、そういったひとつひとつが自
分にとって貴重な財産だと言っても
過言ではありません。

今後は、月日を重ねる度に村山苑
で過ごす時間の方が長くなっていく
ことになり、そのかけがえのない大
切な時間を今後も精一杯努力してい
きたいと思っております。

勤続10年を迎えて

第2ハトホーム

伊藤 真衣

村山苑ハトホームに入職し10年が
経ちました。入職した年度に東日本
大震災が起きたことがとても印象深
く、当時のことを鮮明に覚えていま
す。夜勤中に大きな余震があり緊張
した状態で業務を行っていたことを
昨日のことのように感じます。

副主任という役職についてから
はさらに日々が過ぎるのが早く、
あつという間に10年が経ちました。
10年前に比べ自分は成長できてい
るのかと思えば返すと、副主任にな
り根拠を持つて人に教えることや
判断力が必要とされる場面が増え、
その経験が日々成長に繋がってい
ると感じます。

ハトホームは建て替えが行われ、
間もなく第2ハトホームに再び引っ
越しとなります。引越しを行うこ
とは、入居者の皆様にとっても私た
ち職員にとっても大きく環境が変わ
り、不安になることが多くありまし
た。第2ハトホームへの引越しま
は前回の引越しでの経験を活かし、
入居者の皆様が一日でも早く安心し
て過ごしていただけるよう努めたい
と思えます。そして第2ハトホーム
で気持ちも新たに勤続15年、20年を
目指していきたいと思えます。

勤続10年を迎えて

つぼみ保育園

荒井 良太

この度つぼみ保育園で保育士とし
て働き始めて10年を迎えることが出
来ました。

男性保育士一人目として働き始め
た10年前。右も左も分からず、日々
毎日自分出来る事を精一杯取り組
んでいました。気が付けばあつとい
う間に10年が過ぎていました。

様々な先輩方の色々な保育や熱
意を目にし、子どもを第一に考え
る保育を学び、「子どもに本気で向
き合う」「子どもと本気であそぶ」
とはどういう事かを身をもって実
感してきました。また、共に悩み
保育を考ええた同僚、背中を見てい
てくれる後輩、暖かく見守ってい
てくれた保護者の方々、そして何
より目の前でいつでもとびきりの
笑顔を見せてくれる子どもたち。
この環境があったからこそ今の自
分がいるのだと心から感謝してい
ます。

無限の可能性を秘め、未来を切り
開く力を持つ子どもの大事な乳幼児
期に関わる重要な保育士という仕事
に、自信と誇りを持ち、これまで以
上に子どもたちの為、保護者の為、
そして大好きなつぼみ保育園の為に
精進していきたいと思えます。

令和三年度 事業計画

先ず、村山苑における経営の基本となる基本理念と、基本理念に基づく法人内各施設の基本方針、及び法人が規定する倫理綱領、行動規範の周知徹底を挙げておきたい。

昨年度からの新型コロナウイルス感染症による影響は、ワクチンの開発・接種が始まるうとしてはいるが、まだまだ長期化を免れない状況である。引き続き、3密を避け、マスクの着用、手洗い、消毒等を心がけ、新しい生活様式に沿った中で、出来る限り利用者に寄り添い、コロナ禍での利用者支援は何をどのようにしたら出来るか考え、サービス提供を工夫していきたい。

ここ数年の課題である人材確保については、法人事業の安定的な継続を図るため、引き続き圏域内の高等学校や大学、養成校に積極的な働きかけを行っていく。作成したPR動画やフェイスブック、YouTube、ホームページなどに加えて「LINE」の活用で求職者と情報を瞬時に取り合える環境を利用し、法人・施設をより理解してもらい、人材確保

に繋げたい。また、特別支援学校等からの実習を受け入れ、障害者雇用にも取り組みたい。令和2年12月から受け入れた「ハトホーム」の外国人技能実習生の存在は、在職職員の刺激となっており、個々のスキルアップに良い影響をもたらしている。定着については、法人としてキャリアパス制度を確立させて、働き甲斐を実感できるものとし、併せて、賃金体系も再検討して定着に繋げたい。

利用者支援については、虐待防止の取り組みはかなり浸透しており、「不適切な支援は虐待にあたる」という観点を持ち、職員自らの自己評価を行い、率直に話し合える職場環境づくりに取り組んでいる。今年度も引き続き「村山苑虐待防止ブック」を基に、力を入れていく。苦情対応は、利用者からの意見・要望は「利用者の声」と捉え、出された内容には真摯に耳を傾け、適切に対応をしていく。

施設設備整備としては、第2ハトホームの増改築工事が完了したことから、今後建て替えの必要な施設の

現状を把握し、具体的な整備計画を立てていきたい。

昨年度の新任研修会で取り上げた国際的な取組である「SDGs（持続可能な開発目標）」を今年度の事業計画に盛り込み、法人全体で取り組んでいきたい。SDGsの思想の基本にあるのは、我々が今のような消費を続けていけば、地球環境は、人間にとっても、他の生物にとっても持続可能なものではなくなるといふ危機感と、あらゆる人々の人権を守るといふふたつで、「地球を破壊から守ること」「誰一人取り残さないこと」を柱として掲げている。背景には、気候変動の影響が大きいこと、格差や不平等の拡大が世界全体を不安定にしていることがあるとされている。これを改めるには、変革が必要として、国際連合が加盟国193か国が達成を目指す2030年までの国際目標（17項目）として定めたのがSDGsである（2015年国連で採択）。

国際目標17項目を「5つのP」で考えると理解しやすいといわれている。①People（人間）、すべての人の人権が尊重され、平等に。貧困と飢餓を終わらせ、男女平等を達成し、すべての人に教育、水と衛生、健康

的な生活を保障する。②Prosperity（豊かさ）、すべての人が豊かで充実した生活を送れるようにし、自然と調和する経済、社会、技術の進展を確保する。③Planet（地球）、持続可能な消費と生活、天然資源の持続可能な管理、気候変動への緊急対応などを通じ、地球の劣化を防ぐことにより、現在と将来の世代のニーズを支えられるようにする。④Peace（平和）、平和、公正で、恐怖と暴力のない、すべての人が受け入れられ、参加できる包摂的な世界を目指す。⑤Partnership（みんなが協力し合う）、世界の人々の連帯強化の精神に基づき、世界的な規模の協力関係により、実現を目指す。とある。このことを役員個々がきちんと理解し、できることから積極的な取り組みを始め、そして、法人施設を利用される利用者やご家族、保護者に伝え、行動への動機付けにつなぐことができれば、村山苑としてSDGsに対する社会福祉法人の役割が果たせるのではないかと思う。

1. 法人本身体制

令和3年度は、役員の改選と改正社会福祉法が施行されてから初めての評議員の改選期を迎える。その手

続きについては、行政通知等を参考にし、遺漏のないよう進めたい。

第2ハトホームの完成に伴い、本部事務所をハトホーム施設内の旧厨房跡に再度移転し、本部事務所として独立させ、再度、法人事務局体制を見直して、事務処理の合理化・効率化を図り、施設との連携を強化して情報の共有化を進め、法人各事業の将来像を構築したい。

法人本部を中心に実施してきた生活相談所は、従来の機能は継続しつつ、今後さらに地域で生活する障害者や生活困窮者等への支援に力を入れる必要があることから、東村山市内法人連絡会の「暮らしの相談ステーション」の窓口としても機能させ、地域公益活動の拠点としたい。また、今年度より、中間的就労の受入についても、生活相談所を中心とする実施体制に変更し、社会福祉法人に求められている地域公益活動の一端を担いたい。

2. 介護保険事業

第2ハトホームが5月に清瀬の代替え施設から、ハトホームと同一敷地内に移転することを契機に、ハトホームと一体的な事業運営を目指し、導入したICTを活用して業務

改善・効率化を図っていききたい。今回の報酬改定で、特養の2施設は若干の収益増が見込まれるものの、ハトホーム在宅サービスにおいては、試算の結果、1千万円以上の赤字が見込まれる。ハトホーム在宅サービスは、介護保険が始まって以降、6千万円近くの累積赤字を計上しており、今後、第2ハトホームの借入金返済の財源確保などを考えると、特養本体への影響も生じかねないことから、特養の事業継続を優先せざるを得ず、断腸の思いで休止することとした。使用していたデイルーム

は、当面、介護保険外で地域高齢者の生きがいや世代を超えた地域住民にとつての有効な場所としての活用を考えたい。ほんちようケアセンターは、地域的に利用希望者が多いことから、休止していた独自ショートステイエリアを通所介護事業で活用することとして、利用定員の増員を図り、利用希望者の要望に応えていきたい。

利用者サービスにおいては、利用者本位で進めてきた既存のサービスを、常に点検して質の向上を図り、引き続き、虐待防止体制の検証を確実にしながら、職場内研修も継続していききたい。

3. 生活保護施設事業

改正生活保護法に基づき、新たに日常生活支援住居施設が創設され、既に都内でも26施設(2021.1時点)が認定されている。救護施設とどのような役割分担が生じてくるのか、或いは連携していくことが可能なのかを注視していく必要がある。救護施設としては、より専門的な対応を意識した利用者に対する個別支援計画を策定し、それに基づいた具体的な支援を実施することにより、役割を果たしていきたい。具体的には、

村山苑の2施設が、積極的に地域社会におけるセーフティネット施設の役割を果たすため、個別支援計画に基づき、利用者の地域生活移行支援の強化と、他種別施設への移管に積極的取り組み、循環型の施設としての機能を強化していくことである。また、中間的就労等、法人単位で進めている地域貢献事業にも、救護施設が中心になって推進していきたい。

4. 保育事業

保育4園が共通の「たくましく」の保育目標の下、「すべての子ども・子育て家庭を対象に幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育ての質・

量の拡充を図る」とする法の趣旨に添い、時代が要請する新たなニーズにしつかりと向き合っていく。今年度は、特に新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して、新しい生活様式の中で可能な限り、子どもたちが健やかに成長できる保育を実施する。

また、保育の質の確保と向上への取り組みが保育士等のキャリアアップに繋がりが、保育園が地域の子育て支援の核になっていくことに繋がる。

一昨年度導入したICTを保護者との連絡にも活用し、かつ、業務の効率化を図ることで、保育従事者の確保、定着にも繋げたい。

5. 障害福祉サービス事業

障害福祉サービスの今回の報酬改定では、持続可能性の確保と適切なサービス提供を行うための見直し、また新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価等により、プラスの改定となっている。就労定着支援の支給要件の拡大、就労継続B型支援での新たな評価の設定等で、福祉事業センターとしては若干の収益増額となる。各支援(就労移行、就労継続B型及び就労定着支援)間の連携を強化し、きめ細やかな利用者支援を行っていく。

施設通信

第2ハトホーム

第2ハトホーム完成報告

岡野 雅和

平成30年2月から動き始めた「ハトホーム増改築計画」ですが、令和3年2月末をもちまして無事竣工を迎えることができました。これも設計、施工の各業者様をはじめ各関係者様のお力添えのおかげでございます。ありがとうございます。3月11日の東京都竣工検査を経て3月31日に建物引き渡しとなりました。本来ならばお世話になっておられる皆様をお招きしてお披露目をさせていただきますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、4月20日に規模を縮小して竣工式を執り行わせていただきました。

「第2ハトホーム」は、定員88名の従来型特別養護老人ホームです。6月1日からは定員8名の短期入所生活介護事業を開始します。施設設備及び建築資金の概要は以下の通りです。



構造：鉄骨・鉄筋コンクリート造り陸屋根2階建て
延床面積：4231.12平方メートル
居室：4人室14部屋、2人室12部屋、個室8部屋、短期入所個室8部屋
その他：食堂兼機能訓練室4室、機械浴室4室、談話コーナー16か所、防災型地域交流室1室

【施設整備経費】

建築工事費	： 1,522,180,000円
設計管理費	： 58,512,000円
初度備品費	： 129,765,938円
合計	： 1,710,457,938円

【代替施設利用関係経費】

代替施設賃借料(21か月)	： 33,165,960円
代替施設敷金	： 2,874,000円
引越し費用	： 8,096,000円
合計	： 44,135,960円

【施設整備費財源】

施設整備補助金	： 585,000,000円
東京都開設準備経費補助金	： 78,775,000円
福祉医療機構借入金	： 300,000,000円
自己資金(各施設からの繰入金)	： 746,682,938円
合計	： 1,710,457,938円



苦情解決
第三者からの報告

苦情受付状況を年度の前期と後期に分けてホームページで公開し、第三者委員に報告しています。令和二年度の第三者委員の施設訪問実績は、左記のとおりです。尚、令和二年度は、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、約半年間、第三者委員による施設訪問が出来ませんでした。再開してからは、この間の各施設における新型コロナウイルス感染症対策や施設の利用者・ご家族の様子等を中心に苦情受付の状況を把握していただきました。

**苦情解決
第三者委員**

任期 令和3年4月1日～
令和5年3月31日



丹澤 育子



田村 均

- ▼ハトホーム 令和2年10月13日
令和3年1月20日
- ▼ハトホーム在宅サービスセンター 令和2年10月13日
令和3年1月20日
令和2年11月17日
令和3年3月3日
- ▼第2ハトホーム 令和2年10月20日
令和3年3月11日
- ▼ほんちようケアセンター 令和2年10月20日
令和3年3月11日

- ▼村山荘 令和2年11月10日
令和3年2月18日
- ▼さつき荘 令和2年11月10日
令和3年2月18日
- ▼福祉事業センター 令和2年11月11日
令和3年2月25日
- ▼つぼみ保育園 令和2年10月6日
令和3年1月13日
- ▼ふじみ保育園 令和2年10月6日
令和3年1月13日
- ▼ほんちよう保育園 令和2年10月20日
令和3年3月11日
- ▼ひよし保育園 令和2年11月26日
令和3年1月27日

【資格取得者】

次の方々が新しく資格を取得されました。おめでとうございます。日々の業務に活かされ、ご活躍を期待しております。

- △介護福祉士△
- ハトホーム 大澤 誠
 - ほんちようケアセンター 海野 綾乃
 - ほんちようケアセンター 日下部 喜美子
- △調理師△
- 村山荘 山崎 亮
 - ほんちよう保育園 佐久間信之介

村山苑が経営している施設

- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-7-5
●法人本部 ☎042-393-8496
- むらやま 生活相談所 ☎042-313-0301
- 村山荘(救護施設) ☎042-391-1262
- ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎042-393-7574
- 第2ハトホーム(特別養護老人ホーム) ☎042-306-2320
- 福祉事業センター(障害福祉サービス事業) ☎042-395-3636
- ふじみ保育園(保育所) ☎042-394-9936
- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-8-2
●さつき荘(救護施設) ☎042-396-2244
- 〒189-0024 東京都東村山市富士見町2-2-2
●つぼみ保育園(保育所) ☎042-393-6400
- 〒189-0014 東京都東村山市本町3-43-1
●ほんちよう保育園(保育所) ☎042-399-2100
- ほんちようケアセンター(高齢者施設) ☎042-399-2102
- 〒189-0032 東京都分寺市戸倉2-27-6
●ひよし保育園(保育所) ☎042-843-0202

訃報

小山文夫氏 享年七十六歳

故人は、平成二十九年四月より評議員として、村山苑にご尽力いただきました。ここに感謝の意を表しますと共に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

▲あとがき▼

新型コロナウイルス感染症による拡大が収まりません。感染力が高く免疫が働きにくいとされる変異ウイルスも続々見つかっています。法人内各施設も感染防止対策に努めています。施設行事も縮小や中止を余儀なくされており、今年も村山苑涼祭を中止せざるを得ません。ようやくワクチン接種が始まり、一日も早くこの事態が収束されることを願っています。(手塚)

―表紙の写真―
「埼玉県秩父市三峯」
提供者 匿名

本誌は本人同意のもとに写真・作品等を掲載しております。

* * *

ご意見・ご感想等お気付きの点がございましたら、左記へお寄せ下さい。

令和三年五月吉日 発行
東京都東村山市富士見町二七一五
社会福祉法人 村山苑
発行者 品川 卓正
印刷所 東京都同胞援護会事務局
東京都墨田区両国四一―八